

## 着任のご挨拶

県立深沢高等学校  
校長 田中 和也

深沢高校のホームページをご覧くださいまして、誠にありがとうございます。

私は、令和4年4月1日付で本校第16代校長として着任いたしました田中和也と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

着任してまず感じたことですが、正門から玄関へと続くスロープや、「希望の塔」周囲の花壇を彩る色とりどりの季節の草花が、優しく来訪者を迎え入れてくれます。この植栽はPTA環境整備委員会の方々が、定期的に手入れをしてくださいます。そしてスロープを上り切った際に聞こえてくる鶯の清涼な鳴き声。毎日、爽快な気持ちで仕事に取りかかることができています。また、築37年を迎える本校ですが、校舎内外の清掃が行き届いており、とてもきれいで清潔な状態が保たれています。

このような環境のもと、各学年5～6クラス規模の本校では、小規模ならではのアットホームな利点を生かした質の高い授業と多くの行事が、安全に配慮された形で展開されます。コロナ禍となり3年が経過しましたが、依然として我々の生活は感染拡大を防止するため、様々な活動に制限を強いられています。それでも一昨年より昨年、昨年より今年と、できることは増えてまいりました。4月には、再延期となっていた3年生の修学旅行が無事に実施できました。現在は6月に予定されている体育祭に向けて、生徒の皆さんが生き生きと準備に取り組んでいます。

こうした生徒の皆さんの社会情動的スキルの発達に欠かすことのできない学校行事については、観覧人数を制限したり規模を縮小したりといった工夫を凝らしてでも、何とか実施する方向で進めてまいりたいと思います。

教育活動では改訂された学習指導要領が、今年度からは高校においても新入生より段階的に実施されています。並行して中央教育審議会が2021年1月の答申で示した「令和の日本型学校教育」の意向に沿って、昨年度は全国的にスクールミッションの再定義と、「スクールポリシー」の策定が進められました。本校においても、神奈川県教育委員会の指導の下に、時間をかけて今年度からのカリキュラムマネジメントを検討するとともに、新たに「スクールポリシー」を定めたところです。

そもそも「スクールポリシー」とは、「各高等学校の入口から出口までの教育活動の指針」であり、「1 グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）」、「2 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）」、「3 アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）」の3項で構成されています。

本校が策定した「スクールポリシー」の具体的な各項の内容は、新入生の生徒手帳に明記しました。このホームページにもアップロードしましたので、是非ご覧ください。今後は、学校要覧や配付物等でも広くお示ししてまいります。我々は自分たちで策定したこの「スクールポリシー」に則って教育活動を展開し、生徒たちの成長の支援をすることになります。

前述したコロナ禍において、授業のオンライン化や、一人一台の端末を駆使したBYODの実現も、これからの教育活動を、質を落とすことなく展開していく上では欠かせない要素です。コロナ禍におけるこれまでの経験を活かしながら方法を模索しつつ、本校職員一丸となって教育活動を続けてまいりますので、今後も本校の教育活動に対し、あたたかなご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。